

政策名	4環境にやさしい港		責任者	企画調整室 事業担当課長	連携担当課
基本施策名	05人と自然にやさしい港湾環境づくり				
個別施策名	17良好な港湾空間を維持・創出する		連絡先	052-654-7921	
事務事業名	06公有水面の埋立に係る環境影響評価				

1 PLAN(目的・概要)

目的	公有水面の埋立事業を環境に配慮した事業とします。	事業期間	昭和48年度～継続
概要	公有水面の埋立箇所について、あらかじめ環境への影響評価を行うことにより、公有水面の埋立事業を、環境に配慮した事業とするものです。	根拠法令・要綱等	公有水面埋立法第2条第3項第5号に定める「環境保全に関し講じる措置を記載した図書」
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	21年度は、第1貯木場南の公有水面の埋立に係る環境影響評価(予測、評価、環境保全措置の検討、環境保全図書の作成)を行いました。 【22年度は、稲永ふ頭の公有水面の埋立に係る環境影響評価(調査)を行う予定です。】						
活動指標	年度	19	20	21	22	最終目標 -	備考(指標の算定方法など)
環境影響評価の実施 (第1貯木場南)	単位	目標		0.75	4.25	(累計)5	◇目標年度: 第1貯木場南:21年度(完了)、稲永ふ頭:23年度 工程表は、環境影響評価に必要な ①調査 ②予測 ③評価 ④環境保全措置の検討 ⑤環境保全図書の作成 の全5工程のうち実施した工程数を算出します。
	工程	実績		0.75	4.25		
環境影響評価の実施 (稲永ふ頭)	単位	目標			0.5	1 (累計)5	
	工程	実績			0		
事業費	千円		18,725	85,500	29,400		
人員 正規職員	人		1.58	1.26	0.93		
嘱託職員	人						
人件費相当額	千円		13,857	11,230	8,164		
事業費・人件費の合計	千円		32,582	96,730	37,564		

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	最終目標 -	備考(指標の算定方法など)
作業進捗率 (第1貯木場南)	単位	目標		15.0	85.0	(累計)100	◇目標年度: 第1貯木場南:21年度(完了)、稲永ふ頭:23年度 環境影響評価に必要な作業工程数のうち、完了した作業工程数の割合です。
	%	実績		15.0	85.0		
	達成率(%)			100.0	100.0		
作業進捗率 (稲永ふ頭)	単位	目標			10.0	20.0 (累計)100	
	%	実績			0.0		
	達成率(%)				0.0		
観点	課題の有無	現状の「見える化」				その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・(無)					
	目的・水準の妥当性	有・(無)					
	利用者などの対象者ニーズ	有・(無)					
有効性	成果の達成度	(有)・無	・21年度稲永ふ頭については、法令等の改正により護岸構造の強化が必要となり、名古屋市や国との構造等に関する協議に時間を要し、環境影響評価作業の実施ができず達成率が0%となっています。				
	内容の妥当性	有・(無)					
効率性	実施主体の妥当性	有・(無)					
	受益者負担の適正性	有・(無)					
	経済性	有・(無)					

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大			コストを削減しつつ、公有水面の埋め立てに対応し、必要な手続きを行っていくため。
		維持	○		
縮小					
		縮小	維持	拡大	
		コスト			
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等		公有水面の埋立に係る環境影響評価の各段階においてコスト削減に努めます。			